

～まちの話題～

竹島 小百合さん 第17代「春姫」に

名古屋城本丸御殿の復元などを目指し活動する市民ボランティア団体「名古屋城文化フォーラム」(代表夢童由里子さん)が実施する「第17回春姫道中」の「春姫」に、阿久比町在住の竹島小百合さんが選ばれました。



「春姫道中」ヒロイン

「春姫道中」は初代尾張藩主、徳川義直の正室・春姫の嫁入りを華麗に再現するイベントで、十月二日(日)に行われます。そのヒロイン第十七代「春姫」に、町内在住で南山大学に通う竹島小百合さんが選ばれました。応募者多数の中からヒロイン役を射止めた竹島さん。春姫に応募した動機やヒロインを務める心境などを聞きました。

―応募の動機は

大学で英語を勉強しています。海外へ出て行ったときに日本の歴史や文化を自分の言葉で伝えたいと考えています。自分でいろいろな体験をすれば、肌で感じたことを素直に表現できると思ったからです。

―春姫のイメージは

政略結婚で紀州から尾張の地へ嫁いで来られて、つらいことも多くあったはずですが、現代まで語り継がれるほど、多くのエピソードを残した方だと伺っています。しっかりと自分の意志を持ち、たくましく時代を生き抜いた素敵な女性のイメージがあります。

元気を届けたい

―春姫道中に臨む意気込みは

東日本大震災で被災にあった皆さんに元気を届けられるように、明るく前向きに「春姫」役を演じたいと思っています。緊張して顔の表情が固くならないように、道中は笑顔に努めます。開催日が近づき不安もありますが、わくわくする気持ちもあります。

―将来の夢は

英語を生かして今何ができるか考えています。阿久比町の図書館の雰囲気が好きで、幼いころからよく通っています。週末に絵本を読んでくれたボランティアの皆さんは、本の世界から私にたくさん夢を与えてくれました。子どもたちに夢や希望を与えられるような仕事ができればと思います。

◇ ◇
「第十七回春姫道中」は、正午ごろに熱田神宮を参拝。午後一時、輿入れ行列が名古屋市中区三丁目の中京銀行前を出発して、大津通りを桜通まで練り歩く予定になっています。当日は名古屋城でもイベントが行われます。

毎年春に開催されていますが、今年は東日本大震災の発生で延期となり、半年遅れで実施されます。

とても丁寧に話してくれる姿が印象的な竹島さん。笑顔がまぶしい素敵な「春姫」が、例年とは違う時期に行われる特別な「春姫道中」で多くの人々を魅了することでしょう。